

平成 26 年 8 月 1 日

金沢大学附属病院乳腺科に通院中の患者様へ

(当院で行っている研究についてのお願いです)

[研究課題名] 血管外血小板凝集による乳癌細胞の転移形質獲得の病態解明

[主たる研究機関] 金沢大学附属病院 乳腺科

主任研究者：金沢大学附属病院 乳腺科 井口 雅史

金沢大学附属病院乳腺科では、患者様に最適な診療、治療をご提供するだけでなく、まだまだ未知の部分が多い「乳がん」という病気のしくみを解明し、将来さらに優れた診断方法や治療方法をご提供できるようにするために、様々な研究を行っております。

最近の研究では、がん細胞が発生し、増えて広がっていくためにはがん細胞それ自身のみでは不十分で、周りを取り囲んでいる細胞や組織、血液など（総称して微小環境と呼びます）の助けが必要であることがわかってきました。

当院では、微小環境の一つである血小板に着目し、乳がん細胞に集まる血小板の特徴を見つけ出し、血小板を標的とした乳がんの治療法や予防法の開発をしております。

本研究は、患者様の乳腺組織一部をご提供いただき、乳がんにおける血小板の役割を解明する目的で計画されました。

対象となる患者様は、2006年4月1日以降、当科（旧第二外科を含む）で乳癌と診断され、術前化学療法ならびに手術を受けられた方です。

診療の過程で過去に採取された検体のうち、診断、治療で使わなかった残りの分を使用し、蛋白の発現を調べます。結果は臨床情報（病理診断等）と合わせて解析することがありますが、個人情報（お名前、生年月日など個人を特定できる情報）は一切使用いたしません。説明を希望される方、あるいは過去に保存された検体、過去の診療情報の利用を望まれない方は本ホームページからご連絡いただくか、担当医師にお申し出ください。

ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※この研究は金沢大学医薬保健研究域・医学倫理審査委員会の承認を得ております。

※この研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

[問い合わせ先]

金沢大学附属病院 乳腺科 井口雅史

電話：076-265-2362 FAX：076-234-4260